

20th

HYOUGE MONO SINCE 2005

MORNING KC  
KODANSHA

2465



# へうげモノ

Hyouge Mono YOSHIHIRO YAMADA

Orbje Furuta Souko Ueda Nagayasu Ohkubo  
Ukon Takayama Nagasa Tokugawa



1612年8月  
駿府城（静岡市葵区）

駿河国



上皇の方は  
如何ですか  
一乗院殿……？

いまだ幕府に  
不満の声でも  
……？



ザッ

ザッ



貴殿も駿河の茶  
にて養生して  
下され

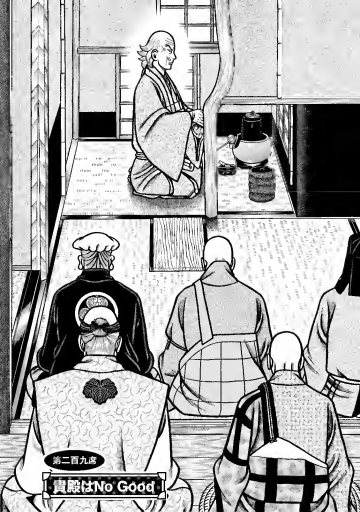
まずは何より



いえ……

御体調が  
お勝れ  
になりま  
へんが

度々と仙洞御所  
へ移らる  
御用意を



第二百九席

貴殿はNo Godd

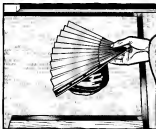


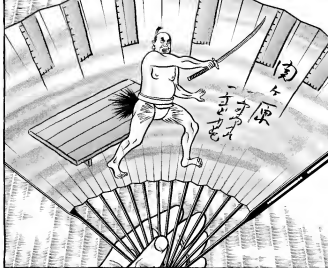






















互いの密を  
知った以上……

長安殿が疑々と  
告げ口するとも  
想えぬ……

長安殿には  
「機を逸した」と  
報せる外あるまい



一度は毒殺を  
案じたものの

敵首に目覚めつつ  
ある 義忠様を  
想えば

親の死因に頭を  
遣わせる訳にも  
参らぬ

御茶頭殿っ

おおっ

江戸まで  
ご同行をばっ

聞きました  
ぞっ

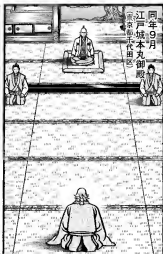
駿府にて面白き  
茶会をなさった  
そうでっ

これは  
片桐殿っ

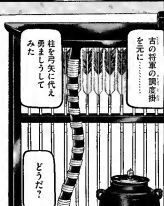
大御所様へ渾身の  
偽りを申し上げた  
が

効果の程は  
先を待たねば  
何とも









●儀礼用の弓を磨けておくもの。





初々しき極まり  
禿頭に黒髪一本  
生えた親にて！

これに合わせ  
道具も変えて参り  
ませぬとのう！



私が用いる物  
ではないっ

ハッ  
ハッ  
ハッ

素晴らし過ぎて  
二の句が継げま  
せぬ！



いや……

これ程の物を  
造られるという  
事は……

江様との縁りも  
解けたようで  
……



礼を申す  
御茶頭殿



貴殿のろけ  
話……

正しかった  
ようだ







1612年9月薩摩  
加治木・島津義張屋敷  
（鹿児島県加治木）

摩臣

はるばる  
ようお越しを  
上田宗簡様

大段は隠居されて  
からずっと  
ここで過ごし  
てしまふ

利休居士の弟子たる  
私め伊丹道雨と  
茶の湯三昧にて……

パシッ

**Abstract**

昨日 煙が  
煙き上がりましたが  
二重に……………

是非也



第二百十席

CUT&GO







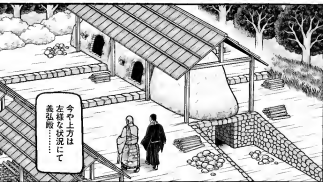






わいどんな  
すてきやうて  
遅いち上げ

おいとサシで  
騒があつたん  
なあ



今や上方は  
左様な状況にて  
義弘殿……



自立を図って  
おった幕中も  
幕府に抑えられ  
……

我らは何とか  
豊臣が潰されるを  
防ぎたく……

そこで  
相談が……



何卒大坂城へ  
兵や兵糧を支援  
して頂きたく



幕府に強う睨まれる  
島津家にはきつう  
ござろうが……



おいの一存じゃ  
決められんとよ



島津は今  
倅ん家久が当主  
……



じやつどん  
……

やはり無理  
ですか……







同年12月 江戸  
古田織部助歴敷  
千代田区丸の内



うーん

御里番で切形通り  
焼かれたこの二つ  
は まあ「乙」だが

先の上田殿が持ち  
帰り 送ってきた物  
は駄目だ……

やはり私が便りにて  
義弘殿に注文する外  
あるまい……

背をより高うし  
底が細くならぬ  
ように……と

あの男……

薩摩で歓迎され  
有頂天になり  
……

我が好みを伝える  
を 怠りおったか  
未熟者め……！



義弘殿が兵糧を  
工面してくれる事と  
なつたは手柄だが……

このまま上田殿に  
花入を譲るは痛よ

何ぞさらに  
悔いてもらねば  
のう……



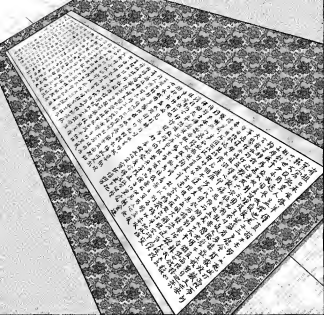
大敵っ

堺の谷宗卓殿が  
お見えに



お……  
お退いそ  
ご慎重に！

稀代の大名物  
なれば……  
！



「承知の通り  
.....」

薩摩の海岸に  
流れ着いた筒より  
見つかり、その名  
が.....

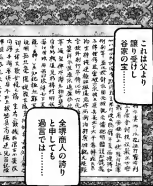


これが北宋の名僧  
圓悟禪師が認めし  
墨跡.....

通称  
「流れ圓悟」！







これは父より  
譲り受けし  
香家の宝……

全堺商人の誇り  
と申しても  
過言では……



千石をも……!!

いえ……

禄の問題では  
ないのです



ゆえに以前から  
織部助様に相談して  
おりました……

伊達様の命にて  
江戸まで持参  
しましたが……



何卒伊達様が  
お諦め下さるよう  
織部助様のお力を  
……!!





谷殿っ!!

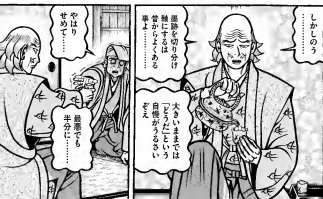
カコン  
カコン



さ……三分間  
までされたら

私は生きて  
おれませぬ……

甥衆より末代まで  
恨まれましようぞ  
……



しかしのう

墨跡を切り分け  
軸にするは  
昔からよくある  
事よ……

大きいままでは  
「どうだ」という  
白恨がうるさい  
ぞえ

やはり  
せめて……

最悪でも  
半分に……





もはや禁中への  
献上金に 手を  
付けずに済むやも



我が京屋敷に  
那古野城……  
江戸への参勤……

出費続きの折に  
この申し出は  
流りに舟……



ザッ

ザッ



同年12月 奥州街道

ザッ

ザッ



大地蔵にて  
伊達領内がやられ

江戸へ参勤し  
普請も続けねば  
ならず

出費が  
止みませぬが



半分ずつつてのは  
方便よオ

それでも「流れ圓悟」  
は手に入れるさア  
成実エ



あの黒跡ア  
天下一のモンよオ

一幅丸ごと  
奪って 文句は  
言わせねエ



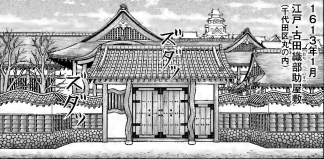
裏で長安の手エ  
借りるより先に

物の所有で  
己が天下一を  
示してやらア

1613年1月

江戸・古田織部助屋敷

(千代田区丸の内)





第二百一十席

CUT&GO (remix)



久しぶりよのう  
伊達殿

茶の湯の胸が  
上がつておると  
上様より聞いて  
ござる

もう表具を  
剥がしてやがる  
……………

どういふ事  
でエ宗匠!?

谷宗卓は  
どうしたア!?

谷殿は私に一任  
して 堺へ戻り  
申した

……………

「宗跡」の事を  
いろいろ案じて  
おったのだが……………

ここでの談判で  
「龍れ閣悟」の譲渡を  
決めるんじやアねエ  
のかア!?



やはり半分に切り  
互いに所有するが  
.....

最も後編れ  
なかるう.....と



「流れ関徳」が  
天下一の威厳を  
放つはア.....

その言葉数と  
でかさゆえよオ



俺も初めは  
そう思つたさア

だがなア



俺ア一幅丸々  
頂くぜエ

聞き分けのねエ  
谷を手打ちに  
してでも.....

あんたをこの場  
でぶっ倒して  
でもなア





奥州の山々で  
銘脈を血眼で探す  
貴殿らが……

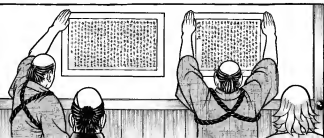
何の事だア

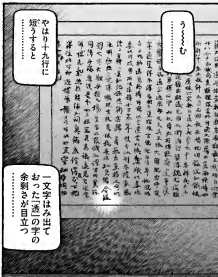


ずっと幕府にも  
シラを切り続け  
野心なぞ忘れるが  
よい

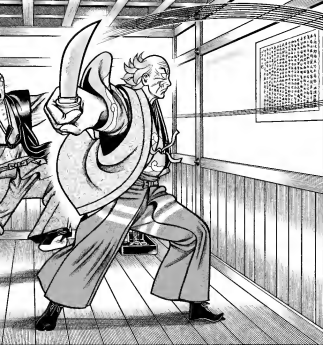












風 他 遠 流

[illegible]





同月 尾張国・那古野城本丸  
(愛知県名古屋市中)





見事な天守よ  
藤堂殿に小堀殿

江戸城や駿府城  
にて培った技を

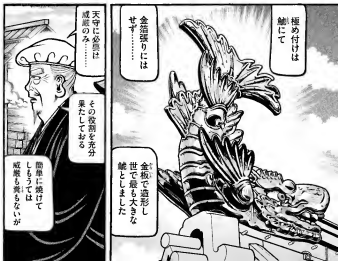
ここに極め  
おったの



駿府城に等しく  
最上階のみ銅瓦  
ですが……

幅広き城ゆえ  
瓦数も多く 高う  
つきました……

やはり西国大名  
が 出費の闊か  
……と



極め付けは  
鯨にて

金箔張りには  
せず……

金板で造形し  
世で最も大きな  
鯨としました

天守に必要は  
威厳のみ……

その役割を充分  
果たしておる

簡単に焼けて  
しもうては  
威厳も無いが



しゅ……

うむ

二の丸三の丸は  
いつでもある？



そこは  
抜かりなく

火や弾にも  
耐え得るよう

壁に櫓や小石  
……瓦を詰め  
一尺もの厚さに



西国大名に甘う  
接しておるのでは  
あるまいな

なにぶん  
広大な郭にて  
いまだ刻が……

急いではおるの  
ですが……



大御所様は  
いまだ……

そ……  
宗匠……

御改心なさって  
おらぬようで……



け……

決して左様な



すぐにでも  
豊臣清しの戦いに  
臨まんと……

東の磐たる  
那古野城を早う完成  
させ……



申し上げます  
大御所様っ！

ただいま播磨国  
より早馬が……







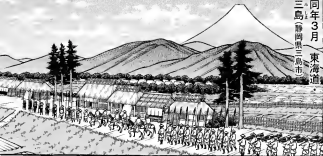








同年3月 東海道  
三島(静岡県三島市)



相島殿が動け  
のうなり……

池田殿までが  
亡くなられ……

今や大坂城の守り  
は手薄になって  
ござる佐竹殿……



先の戦にて 徳川を  
信用し過ぎた報いに  
ござる

あの世の  
石田三成に  
嘲笑れてござろう

まあ そう  
申されるな

まさか徳川が  
豊臣を潰しに  
かかるとは……

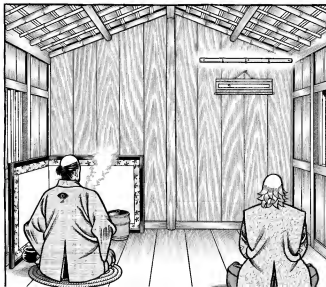
下剋上を為そう  
とは想わなんだ  
ゆえ

















織部助め



「いまだ毒を盛る  
機はなし」……  
だと!?

「しばらく大御所様  
の様子を見る」……  
だと!?



私にはもはや  
……

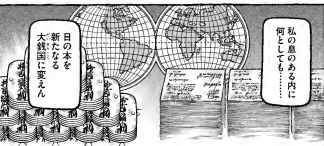
左様な剣を  
待つ暇はない  
……









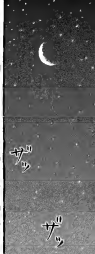
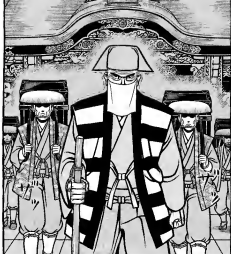




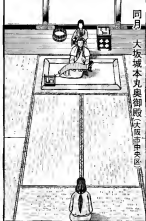
私が大坂城へ入り  
秀頼様を説得でき  
た時点で……











同月 大坂城本丸奥御殿(大阪市中央区)



長安め……



金棒が  
備わるわ

豊臣が鬼の  
わらわに  
どうとう

1613年4月 東海道  
桑名三浦屋敷名所

うまい蛤を  
食べたい気持ちも  
わかりますが……

人の多き場は  
避けようがない  
ます 長安様

早う食べて  
上方へ参りま  
しょう

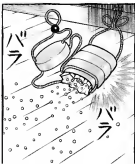




第二百十三席

AGAINST ALL ODDS

















私の亡骸は……

わ……

すぐに駿府へ  
戻せ……



倅が……

藤十郎が天下を  
牛耳る見届もり  
は……



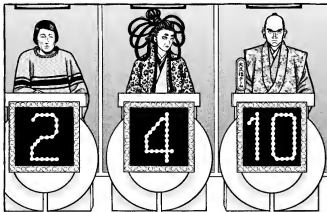
倍率ドンッ



決して幕府に  
気取られるな  
……

何事も  
無かったが  
如く……

謀を続ける  
のだ……



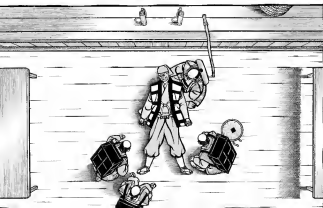


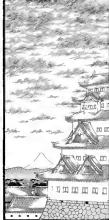
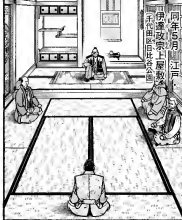


大穴も当たらず  
成り上がる事も  
できぬ世をぞ……



徳川の五倍も  
難しき鉾脈を  
当てろ……と









やはり正式に  
ローマ教皇の承認  
を得て……

伊達様主導で  
事を成す方が  
確実……ゼマス



ともかく長安は  
急ぎ過ぎました

今 畿内を抱き  
込み 反乱を起こ  
しても……

我らの後援が  
追いつきません



そういうこ  
うなア成実ニ



小西<sup>せい</sup>行<sup>ぎょう</sup>長<sup>ちやう</sup>より続く  
南蛮<sup>なんばん</sup>後ろ盾<sup>ごだて</sup>の  
国造<sup>くにぞう</sup>りは……

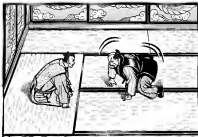
俺<sup>おれ</sup>らに委ねら  
れたのさア





●現在のオキンの図











見てろや  
蒲生……



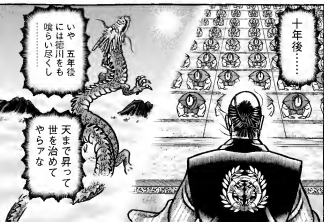
形はまだ  
小せエが……

大海原を  
泳ぎ回れらア  
……



もう……

もう俺ア  
池の鯉じやア  
ねエ……



十年後……

いや 五年後  
には徳川をも  
喰らい尽くし

天まで昇って  
世を治めて  
やらアな

同月 京・堀川  
古田権部助屋敷(京都市中京区)



果たして  
笑福の世が  
訪れるのか……



この世から  
猪が居のうなり  
……………



1613年5月  
駿河国 大久保長安屋敷  
(静岡市駿河区)

邸内を一通り  
調べたのなら  
帰きなされ!!

幕閣であつた  
亡き父に対し  
無礼ぞ!!

幕所へ納めし税の  
勘定が合ふぬ事態  
なれば……

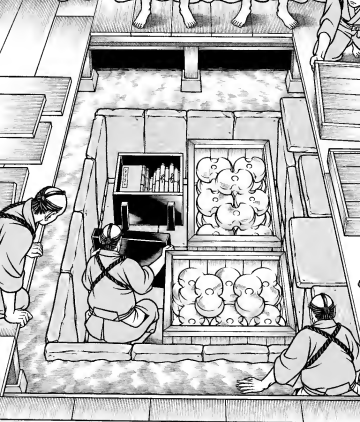
今しばらくの  
辛抱を

多少の勘定違いは  
誰にもあろう!!

長安様のお妻から  
も不正を訴える  
声が

カラッ

お休み処の床下  
より 異な物が  
……!!



第二百十四回

もう俺以外愛さない





まずは駿府城  
まで同行を

長安様が他の御子  
らも 身柄を預か  
り申す



同年7月 紀伊国 和歌山城  
(和歌山県和歌山市)



いや……

これがあの  
生真面目だった  
薩摩茶人……

宗匠の指導で  
真にひょうげた  
形に……















何卒<sup>なんそく</sup>

何卒<sup>なんそく</sup>今後も  
浅野<sup>あさの</sup>家への<sup>くわんぐ</sup>鞭撻<sup>むちう</sup>  
をば



幸長<sup>さちなが</sup>様が何とか  
治<sup>なを</sup>つてくれると  
よいですが……

ザッ

ザッ



胸が腫れておる  
のがあります

甲乙で申せば  
「甲」のみを重んじ  
る方にて……



何ぞ不安で  
も……

いや……

どうも長蔵殿とは  
馬が合いますので  
……



「……」と云  
う……



それこそ数奇者  
が胸の見せ所よ

私とて秀忠様の  
好みを広げつつ  
あるのだ



来月には九度山  
へ行けるよう  
内密に用意を

久方ぶりに  
密匠に会いた  
い……と

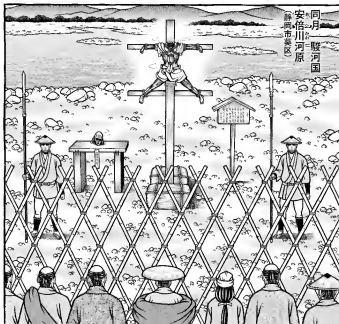


真田殿との茶会は  
如何ぞ？

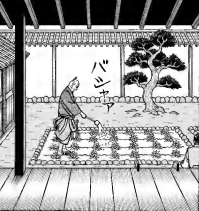
良い返事を  
頂きました



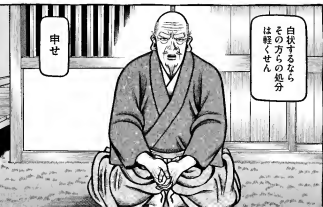


















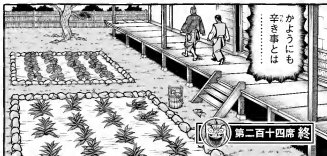
もはや誰も

我が子すら  
信じられぬ



は 非情になる

は 強かになる



かようにも  
辛き事とは



第二百十四席 終



1613年8月 紀伊国  
九度山 和歌山県九度山町



九州攻めの折に  
おふったお方が  
かような義能に  
なられるとは……

それがしも  
船を取るわけです  
青大将殿っ



ほう……

これが  
「真田庵」……



高野山の僧や  
村人に厚遇され

住まいだけは  
立派なものに



青大将などと  
ほざくとまた  
放屁一発味らわす  
ぞえ

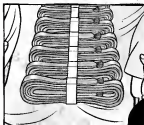
あれは  
ご勘弁を



第二百十五席

わかやま















あまりに気の  
抜けた形につい



笑いました  
な!!

この花入が  
「ニコロッペ」殿に  
尻毛が踊りました  
な!!



いや……..  
わかって貰えて  
嬉しいっ

嬉しいと同時に  
困るのが惜しう  
なってます



なれば  
貰えぬで

金子の方は頂き  
戦仕度をお願い  
……

我らは  
大坂城へ





我らが入るからには……

秀頼様にお伝え下され

城を遁り変えるご覚悟を……と



ともかく我らは……

戦に勝つつもりで入城致す



承知致した……

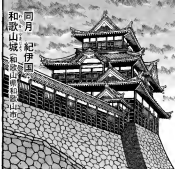


残金は幾にしかと送り届け申す

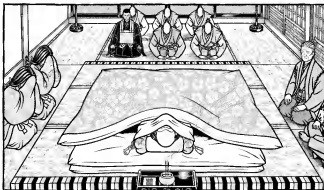
きを展うなれど真田殿の助力には代え難い……



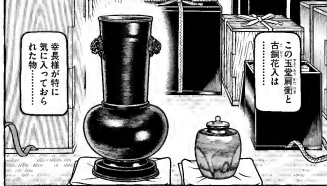




同月 紀伊国  
和歌山城 (和歌山県和歌山市)











上田殿も肝に  
結じて欲しう

もはや灰色が  
許される世では  
のうござる



手勢が増えて  
参ったのう  
左門殿……



同年11月  
太坂城西の丸大蔵市兵衛









任せな

右近殿が加わりやア  
南蛮好きの者共が  
意気も上がりア



ほう

左門をのう



陛下は勝って  
天下を獲った

長安は博打に  
負けたが……

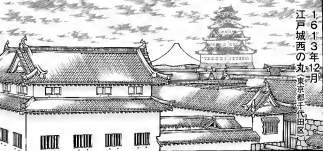


徳川は内から  
崩れ始めておれ  
ど

豊臣は着実に  
力を増しており  
ます



1613年12月  
江戸城西の丸（東京都千代田区）



日の本におる  
伴天連へ向け  
令文を書け

一切を国外へ  
追放致す

第二百十六席

サイテーなFUCK YOU!







忠隣の身辺を  
さらに吟味し……

秀忠との協議  
の下 沙汰を  
出さん



忠隣は幕府に  
無くてはならぬ  
重臣……

易々と処遇は  
決められぬ……



同月 越中国・高岡  
(富山県高岡市)

ギュッ

キュッ



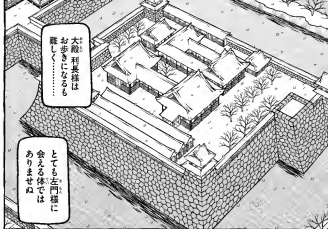
堀のだけエ  
格好良い城じや  
ねエかア

前田利長の  
隠居場に  
しちやア……

これが高岡城  
か……



キュッ



大内 利長様は  
お歩きになるも  
難しく……

とても左門様  
会える体では  
ありませんぬ



ツアツ……

金沢城の方と  
等しく……

豊臣との連携に  
慎重になつて  
やがらア……



こつちは秀頼様の  
書状を持つてきて  
るんだぜエ!!



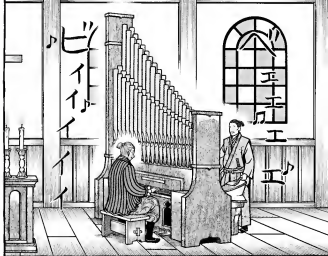
……ついでに



……申し訳  
ありませんぬ

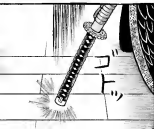








騎士ル・カル邸でメリー・クリスマスのお会











私は抗う度に  
周りに迷惑をかけて  
きました……

これ以上  
迷惑を増やせば  
……

残る余生の内  
に 恩を返せ  
ません



最長の件以来  
……

禁教は厳しく  
なる一方よき  
……

江戸じやア  
斬首された者も  
いらア……



遠き彼方へ  
追放される  
やも……

私も含め  
……



あんたが戦わな  
きやア……

北國の件天運も  
どうなるか  
わかんねエゼ  
…… 17



私は数奇者  
ゆん……



もはや殉教も  
覚悟の上にて

されど左門殿  
……



前途の多難  
以上に……



もし追放される  
なら……

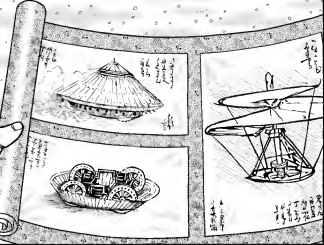
彼方でこそ  
……

南蛮と和の混じり  
合うた世が創れる  
のでは……と











私にはもう  
要らぬゆえ  
進呈をば

抗うのに  
歯れたとは  
いえ……

どうにも  
増え過ぎは……



素晴らしい建物たる  
教会を、幕府が  
壊しておる事

もし戦になる  
なら……



それで上方の  
教会を護って  
下さい



三枚舌も  
悪かアねエ

1614年1月 京・堀川  
古田織部助屋敷 京都市中央区







1614年1月 越中国  
高岡城（富山県高岡市）

いま一度聞く  
高山殿……

どうしても  
棄絶せぬか  
……う？



形見なぞ  
要らぬ

追放処分が解け  
次第 貴殿を  
呼び戻すゆえ



お世話になりま  
した利長様……

我が愛玩の  
茶壺を置いて  
ゆきまする



第二百十七席

さびしんぼう









寒<sup>さ</sup>冷<sup>や</sup>えのする  
北<sup>きた</sup>國<sup>くに</sup>から……

南十字星の  
見<sup>み</sup>えん 温<sup>ぬ</sup>き  
楽<sup>ら</sup>園<sup>えん</sup>への迷<sup>ま</sup>い



おそろく我<sup>われ</sup>らの  
行<sup>い</sup>く先<sup>さき</sup>は 南<sup>みな</sup>方<sup>ほう</sup>  
の島……

幕<sup>まく</sup>府<sup>ふ</sup>にとつては  
追<sup>お</sup>放<sup>はな</sup>処<sup>しょ</sup>分<sup>ぶん</sup>でも  
……

ちと見<sup>み</sup>立<sup>た</sup>てを  
変<sup>か</sup>えれば……



この先<sup>さき</sup>の目<sup>め</sup>の本<sup>ほん</sup>に  
生<sup>い</sup>きる切<sup>き</sup>支<sup>し</sup>丹<sup>たん</sup>に  
申<sup>まう</sup>し訳<sup>わけ</sup>ない

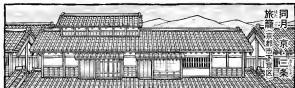
こ<sup>こ</sup>で苦<sup>く</sup>勞<sup>らう</sup>して  
お<sup>お</sup>か<sup>か</sup>ねば……















今度の太御所様の  
命は徹底しており

私に上方の  
南無寺一切を  
焼き払えとまで



いくら茶の湯の  
師が頼みでも

そればかり  
は



長安の件にて  
苦しみ立場の私  
は

命を達行して  
点を稼ぐ外  
にないため



かつて信長公は  
貴殿ら大久保一族  
を

「敵にべつたり  
付いて離れぬは  
香葉の如しと」

戦いぶりを  
褒められた













同年2月  
大坂・織田有楽斎屋敷  
大阪市北区



長安と係わり  
あった者が次々と  
聞せられ……

全国の伴天連が  
追放されし様を  
見れば……



幕府が南蛮国との  
繋がりを通つ氣で  
おるは明白……

おそらく右近の  
赦免はなからう  
て

貴殿も繋がり  
持つ一人にござ  
ろう



俺は既に棄教し  
交流を断って  
おる

なに……

左様なものは  
時流に合わせ判断  
すれば良いのだ



なれば貴殿は  
会いに行かぬ  
……と？



会えば幕府に  
怪しまれるぞ

癡心あり  
……とな



だが右近は  
こたわりを捨て  
きれぬ男……

いくら棄教を  
勧めに行っても  
無駄なことは  
わかっておろう



特にお前は  
大久保忠隣・長安  
と交流し……

妹を右近に  
嫁がせておる  
のだ

將軍指南役と  
いえど、例外には  
なるまい

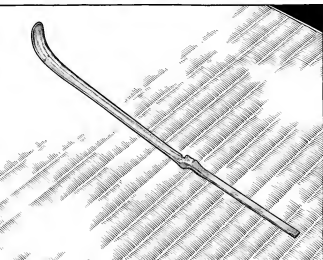


結構な茶に  
ごびった

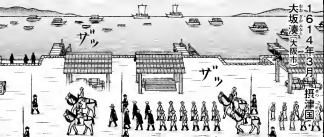
世渡りも  
点前も……

上手さでは  
敵わぬで











第二百十八席

A song for OUR brother













安南茶碗を  
手に入れ申した

今日のため  
に……

お茶会のベトナム。



この茶碗の風情  
を鑑みながら

南方の新たな  
茶室案を描いて  
みましょうぞ



一体何を  
……





真に別れを  
惜しんでおるの  
か………？



ガハハハ

ア  
ハ  
ハ  
ハ



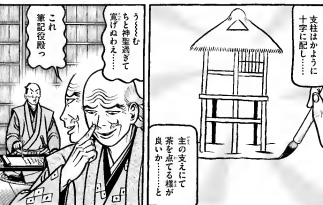
不浄を睡う右近殿  
にはもってこい  
であらうに

兄上は胎を取って  
坐禅しておるの  
ですっ



確かに呂宋には  
高床の家が多いと  
聞きますが………

これは高過ぎ  
ますぞ  
前兄上っ

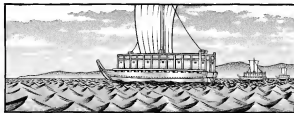


















やっぱり好きや  
ねん……

棄教を宣する  
ところやった



余りにひょうげ  
た居心地の  
良さに



数奇者多き  
この国が

日本の本が



お前を弾し  
これを受け取ら  
なかったは……

我らの数奇に  
染まりとう  
なかった……



遠地かの



それはわからぬ  
が……

何とも後味悪き  
別れになって  
ござった……



天下一の茶の湯  
名人といえど……

もてなし方は  
まだまだという  
事よ



それはそうと  
良い鎧を想い  
付いた

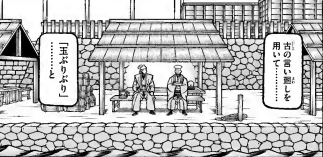
御の如く  
行ったり来たり  
したゆえ……

この茶杓は  
「麒麟」としよう



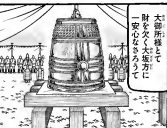
今の苦い心境を  
撒散らしてはくれぬ  
名ですのう

なれば 茶杓を  
運んだお前好みを  
踏まえ……





1614年4月 京  
方広寺大仏殿（京都市東山区）



銘曰

清臨東麓

金碑瑣瑣

寶室瓊殿

貫虹玉梁

參差萬瓦

崔嵬長廊

玲瓏八面

威耀十方

瓊臺聖殿

剎甲瓦葺

新鐫高折

兩晉千鐘

寶鼎遙迤

律中宮商

十八擊鐃

百八聲梵

度釋雲謁

夕燈晨香

上寺蘭芝

遠寺出湘

東山蒼月

西庭斜陽

王筍攜燈

靈山降靈

香林松雲

故宮梵唐

靈異伊邇

功用無量

祈禱幾層

國家石庫

四海施仁

萬歲傳芳

君臣聖訓

子孫殷昌

佛門社稷

誼社金湯

飛鐘之記

山雨水長

宣統元年九月

宣統元年九月

宣統元年九月



同年5月 大坂城西の丸  
(大坂市中央区)

おおさか

何と……!!

今日二十日  
前田利長様 自らの  
隠居城にて……

御齡五十三にして  
息を引き取られた  
……と



表向きは徳川方  
の利長殿なれど  
……

裏で力を貸して  
くれると期待して  
おったのだが……





秀頼様とて  
同じお氣持  
にて



大御所様が果てる  
までは 我慢する  
しかない!

大

貴殿も  
豊臣への恩を  
忘れたか?



忘れておった  
ら 頭は抱え  
ぬ!!

よいか!!!

大

寒月駿府へ参つて  
も 左様な態度を  
見せるでないぞ!











世の要人を  
次々と排し  
……………

伴天連の追放  
までなされて  
おれば……………

自ずと  
反発する者は  
増えます



戯言を申すで  
ない!!!

褒美は要らぬ  
ゆえ 言わせて  
頂きます



茶の湯において  
良き亭主は……………

様々な国の物を  
道具にしますれ  
ば……………



勿論 太閤様とて  
要人を排されまし  
たが……………

ここまで窮屈に  
感ずる事は  
ありませんだ





価値の異なる物  
でも上手く用い  
て

客を「面白し」  
「格好良し」と  
楽しませます



それはかつて  
太閤様が……

政にて  
成さんとして  
おられた事



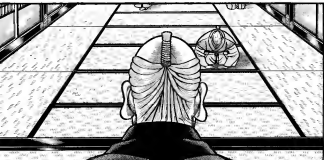
されど今の  
大御所様は  
……



価値の異なるもの  
を一切認めず  
……

道長様からすら  
排されるように  
なられた





同月、京  
下桂村  
(京都市西京区)

習仁親王別荘普請場



お……

それは真か  
!?

この畫綱が  
駿府へ参勤した  
折……

片桐殿より  
聞き申した



確かに治長殿  
は……

大御所様を  
野暮だ……と







江戸で会った  
治長殿が弟  
治房殿は……

「兄者を見直した」  
などと鼻息も  
荒く……



片桐殿の平謝り  
にて 事無きを  
得ましたが……

治長殿は井明も  
せず 大坂へ  
帰った……と



治房か……

あつちは血の氣  
が多いゆえ  
のう……



されど 野暮と  
言われて遊覧する  
程……

大御所様は  
小そうないわ





あの数奇者兄弟に  
効くは 茶焙が  
一番……

何ぞ最高の物を  
造らねばの  
……



同年7月 駿府城



野暮か否かなぞ  
どうでもよい

それより  
……



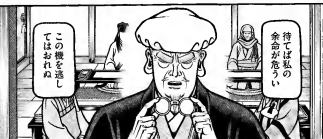
市川地



何か御案じで  
……

いまだ大野の  
言葉を……





年内に戦を  
仕掛け

日本の本の一  
切を掌握す



第二十服終





## 真田信繁 Nobushige Sanada

1567(永禄十)年生まれ。信州の豪族真田家は、大勢力のはざまにニッチな戦いを余儀なくされた。家康を思ひ嫌う父・昌幸とともに、関ヶ原では西軍に与し、武運尽く改易。紀伊国で蛰居の憂き目。抛土重来を期して生国から十勇士を呼び集めたとは講談の世界。家計を支えた「真田紐」は織部創案との説もあり、今日でも広く茶道具に用いられている。好きな色、マルベリーグリーン。

## 島津義弘 Yoshihiro Shimazu

1535(天文四)年生まれ。兄・義久とともに名門島津家を支え、戦国乱世を巧みにくぐり抜けた。朝鮮出兵では明・朝鮮軍を破壊させ、関ヶ原の戦いでは決死の退却戦で名を轟かすなど、武勇をもって知られるが、やきもの・茶の湯にも造詣の深い文化人でもあった。義弘が朝鮮から陶工を連れ帰り、「薩摩焼」の歴史が始まる。義弘が送った茶入に吉田織部がボツを出した逸話は史実にて候。好きな色、オレンジレッド。





# 片桐且元 Katsumoto Katagiri

1556(弘治二)年生まれ。浅井氏滅亡後、秀吉配下に転じ、隠ヶ岳の戦いで活躍。加藤清正、福島正則らとともに「七本槍」の一人に数えられる。秀吉亡き後は家康の命で秀頼をサポート。織部ゆかりの斑津・栗木城は片桐家の居城。織部に茶の湯を指南された武将の一人。好きな色、ライトパープル。

# 大野治長 Harunaga Ohno

1569(永禄十二)年生まれ。母・大政卿局は茶々～淀殿の乳母。若くして秀吉から大名へと取り立てられ、豊臣家高級官僚の道を歩む。秀吉没後、家康暗殺疑惑の首謀者とみなされ、下総国へ流罪。関東はショボい、徳川はダサいという価値観が、のちの家康イズ「野暮」発言につながったとの噂。茶の湯では織部に師事。「へうげ」と「かふき」のちがいを知らず。目下の課題にて候。好きな色、ダークオレンジ。



へうげま9(21)冊

いざいざ、大坂の冬の陣  
家康公、お世話になり申した！  
15年師走発売予定！！

TEA FOR UNIVERSE, TEA FOR LIFE

# Hyouge Mono

20<sup>th</sup>  
KODANSHA

Cut and Run / Ultravox 1982

Against All Odds (Take A Look At Me Now) / Phil Collins 1984

とどろけ! (Welcome To The Edge) / Phil Collins 1984

Etude in E major, Op. 10 No. 3 "Tritones" / Fryderyk Franciszek Chopin 1832

Song for My Brother / Billie Hughes 1991

After the Love Has Gone / Earth Wind & Fire 1979

You're No Good / Linda Ronstadt 1975

ウ・エ・シ・エ / 矢沢永吉 1988

ウ・エ・シ・エ / 矢沢永吉 1988

ウ・エ・シ・エ / 矢沢永吉 1988

ウ・エ・シ・エ / 矢沢永吉 1988

モーニングな日々 (Morning News)  
1994/10/10放送 (収録)  
1994/10/10放送 (収録)

2465

HYOGEN MONO SINCE 2005  
MORNING KC

毎週、ココに届きます。

スマホ



月額  
なんと  
**500円!**  
(税込)

iOS版 / Android版配信中!

週刊 読むと元気になる!

**D モーニング**

<http://app.morningmanga.jp/>

※紙のモーニングとは一部内容が異なります。

※収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、コミックス発売当時のまま掲載しています。



eBOOKで  
快適読書生活



<http://www.ebookjapan.jp>

---

電子書籍版

へうげもの

20

山田芳裕

© Yoshihiro Yamada / 講談社

---

Digital Distributor  
eBook Initiative Japan Co.,Ltd.  
<http://www.ebookjapan.jp>

---